

平成18年度 第46回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成19年2月13日(火) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、近藤副学長、国武副学長、羽田野事務局長、板谷
外国語学部長、迎経済学部長、木下文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学
学部長、谷村社会システム研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、伊藤国際教育
交流センター長、棚次学術情報総合センター長、伊野入試センター長、漆原基盤
教育センター副センター長、前田評価室副室長

配布資料

- 1 教育職員の休職について
- 2 学科長候補者氏名について
- 3 平成19年4月教授・准教授昇任候補者及び選考委員について
- 4 利益相反ポリシーについて
- 5 北九州市立大学研究費不正防止対策検討委員会要綱(案)
- 6 北九州市立大学大学院再編準備委員会要綱
- 7-1 北九州市立大学学則新旧対照表(案)
- 7-2 北九州市立大学学位規程改正案
- 7-3 北九州市立大学大学院マネジメント研究科規程(案)
- 7-4 北九州市立大学大学院研究科委員会規程改正案
- 7-5 北九州市立大学大学院長期履修学生規程(案)
- 7-6 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科規程改正案
- 8 平成18年度の学生表彰について(案)
- 9-1 全学各種委員会組織の見直し案
- 9-2 各委員会名簿
- 10-1～3 公立大学法人北九州市立大学 平成19年度計画(案)

(冒頭、第45回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 教員の休職について

* 教員の休職について、資料1のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 学科長の選任について

* 学科長の選任について、資料2のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 昇任候補者の選定、昇任選考委員会の設置について

* 平成19年4月の昇任人事に関して、昇任候補者の選定、昇任選考委員会の設置について資料3のとおり提案。

●昇任候補者の選定はどのような考え方で行ったのか。

○考え方は以下のとおりである。

1. 各部局長の推薦した教員に候補者を限定
2. 昇任の資格要件を満たしていること
3. 助教授から教授昇任については、
 - ・各学部0～2名、北方キャンパス全体で10名以内、国際環境工学部は5名以内を目途とする
 - ・50歳代の教員については、教員評価等を参考にして原則昇任を進める
 - ・40歳代の教員については、博士号取得、単著の専門書、全国規模の学会誌掲載数、教員評価等を参考にして、いずれかの項目について特に業績の高い者を対象
4. 講師から准教授昇任については、全員の昇任を進める

●博士号の取得は教授昇任の必須条件なのか。

○そうではない。博士号を取得していなくとも、単著の専門書、全国規模の学会誌掲載、教員評価のいずれかで特に業績の高い者は候補者とした。

●30歳代の教員が教授に昇任することはないのか。

○著名な賞の受賞など、特に高い社会的評価を受けた場合は教授に昇任することも考えられる。ただし、その場合も部局長の推薦が前提である。

【議長】提案の教員昇任について、選考委員会を設置し、選考手続きを進めてよろしいか。

なお、3月7日に教育研究審議会を開催し、本件を審議する。

【委員全員】（異議なし）

第4号 利益相反ポリシーについて

* 利益相反ポリシーの策定について、資料4のとおり提案。

○産学連携事業の推進に伴い、「利益相反」に係る案件が生じることが考えられ、利益相反に係る対応のあり方や基本的考え方を策定するものである。

●利益相反アドバイザーとは具体的に誰か。

○法律の専門家等外部の人材を想定している。範囲が分野によって異なるため、特定の人に限定するかは今後検討する。

●審議は、自己申告に基づいて行われるのか。

○学内では自己申告が基本となるが、実際のケースとしては、外部からの指摘も想定される。今後の教育研究審議会でも、利益相反委員会の設置について審議したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 北九州市立大学研究費不正防止対策検討委員会の設置について

* 北九州市立大学研究費不正防止対策検討委員会の設置について、資料5のとおり提案。

○本学における公的研究費の管理、監査等の実施について、不正防止計画の策定及び関連規程の制定並びにこれらに必要な組織体制等の整備を行うために設置する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第6号 大学院再編準備委員会の委員の追加について

* 大学院再編準備委員会の委員の追加について、資料6のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第7号 学則及び規程等の整備について

* 外国語学部英米学科・中国学科、マネジメント研究科の新設に伴い、北九州市立大学学則・学位規程・大学院研究科委員会規程の改正及び北九州市立大学大学院マネジメント研究科規程・大学院長期履修学生規程の制定について、資料7-1～7-5のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 国際環境工学研究科の生態系・環境保全コース新設に伴い、北九州市立大学大学院国際環境工学研究科規程の改正について、資料7-6のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第8号 学生表彰について

* 平成18年度の学生表彰について、資料8のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第9号 各種委員会の構成について

※ 全学各種委員会組織の見直しについて、資料 9-1、9-2 のとおり提案。

- 見直し案に、「開催回数が多く分科会の設置を必要とする委員会については、委員の集中的配置を行う」とあるが、どういう意味か。
- 必要に応じて、1学部1委員選出の原則にこだわらず弾力的に配置するという意味である。
- 一般論として委員が欠席する場合、誰が出席してもいいのか。
- 学部等で責任を持って代行者を出していただく。あらかじめ代理人を決めるわけではない。
- 国際教育交流センター会議や学術情報総合センター会議は、各学部1名以上の委員が運営上必要であるので、適切な配置をお願いしたい。
- 実態に合わせて、適切な人数を配置する。見直し案の表現を検討する。
- 委員の人選については、事前協議ではなく学部の判断に任せるようにしてほしい。
- 意見として提出してほしい。検討する。
- 基盤教育センターに新たに設置する「非公式の運用レベルの連絡会議」とは何か。
- 基盤教育センター会議はセンター専任教員会議とし、現行の学部教員を含む拡大会議は、非公式の運用レベルの連絡会議にするという趣旨である。
- 基盤教育センターについては、非公式の連絡会議を立ち上げるよりも、基盤教育センター内の系統組織を見直すことによって、改善するのが良いのではないか。
- 全学カリキュラム委員会で提案した非常勤講師の数やコマ数などの目標数値を、完成年度までチェックしていく組織が必要である。
- 意見として提案してほしい。
- 見直し案にある「適切なインセンティブの付与」とはどういうものか。
- 各委員会業務の質量に応じて、適切なインセンティブを付与するという趣旨である。今後具体化する。

【議長】各学部等から意見をいただき、次回の教育研究審議会で審議・決定するものとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第10号 平成19年度計画について

※ 平成19年度計画について、資料 10-1、10-2、10-3 のとおり提案。

【議長】各学部等から意見をいただき、次回の教育研究審議会で審議・決定するものとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ①一般選抜の出願状況について、資料 11、11-1 のとおり報告があった。
- ②教員の海外出張について、資料 12-1、12-2 のとおり報告があった。
- ③次回の審議会を3月6日（火）、昇任候補者の選定については3月7日（水）に開催する予定である旨、報告があった。